第16回(平成25年度)
七十七ビジネス大賞

ナカリ株式会社

代表取締役社長
中村　信一郎 氏

●企業の概要

企 業 名：ナカリ株式会社
代 表 者：代表取締役社長　中村　信一郎
住　　所：加美郡加美町羽場字山鳥川原 9－28－4
設 立 年：昭和31年（創業：大正12年）
業　　種：米穀卸売業
出 資 金：10百万円
従業員数：57名

●事業の概要

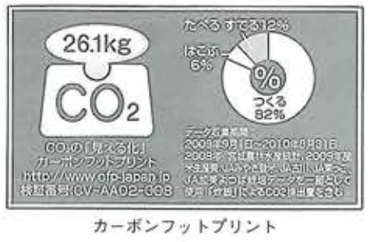
大正12年、肥料米穀販売業として中新田で創業。宮城県の主たる農産品である米穀を取り扱い、主食用米から炊飯米、加工用米に至るすべての米を取り扱う「オールライスメーカー」として地域産業の発展に貢献。現在は宮城県を中心に東日本で生産された米を全国へ供給し年間取扱量は約5万トンで、特に加工用の米である特定米穀について年間取扱量は約3万トンに及び、国内トップの取り扱いを誇る。県内を代表する米穀卸売業者として、穀倉地帯の地域経済発展に大きく貢献してきた企業。

本社

米倉庫

大正時代から米穀を取り扱い地域産業の発展に貢献、食の安全・安心を第一として環境・健康に配慮した商品を提供し、東北の農業を牽引

BG無洗米の金芽米



カーボンフットプリント

残留農薬測定風景

BG無洗米工場

※BG（Bran＝ヌカ、Grind＝削る）…精米製法名

●受賞の理由

当社は、主食である米および米関連商品を取り扱い、「高品質・適正価格・安定供給への取り組み」「環境への取り組み」「食の安心・安全への取り組み」という3つの挑戦を標榜し、主食用米を含む米穀の年間取扱量約5万トンを安定供給している。

取り扱い品目において、主食用米はＪＡ・全農を経由した調達が主流であるのに対して、特定米穀の調達は生産農家や集荷業者との個別対応となる。秋の収穫時期の一極集中仕入れが特定米穀の取扱量に大きく影響するが、当社は、創業以来永年生産農家などとの間に築いた信頼関係と安定した経営基盤により十分な取扱量を確保し、国内トップの地位を築いている。

安心・安全面では、平成20年ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステムに関する国際規格）を取得し、国際標準に適合した厳格な品質管理体制のもと、主食用米、特定米穀および酒造米の精米ほか加工を行っており、安心できる製品を提供している。また、食品安全管理室を設置し、カドミウムや残留農薬、放射線の測定などの管理と情報提供に努めている。

環境保全活動にも積極的で、平成16年にはＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステムに関する国際規格）を取得。米を継続して生産できる健全な環境を維持するとともに、太陽光発電など環境負荷を低減する活動を継続し、社会の持続的発展に向けて行動している。また、当社製品に表示する「カーボンフットプリント」を通し、低炭素化社会への啓蒙活動に参加している。環境保全活動では無洗米の取り扱いが大きく貢献しており、米のとぎ汁（汚水）の流出を抑え環境に配慮した商品として取り扱いも多く高く評価されている。

また、新しい商品への取り組みも積極的で、無洗米の中でも栄養価が高く免疫力の増進にも効果があるといわれる「金芽米」は高い技術力が必要とされるが、平成25年より製造し人々の健康増進にも貢献している。

当社は、日本人の主食で地域の主要農産物でもある米を取り扱い、安心・安全を第一として米を食べる人々の健康にも配慮した商品を提供し、県内経済の発展に大きく貢献しており、今後も東北の農業を牽引し一層の飛躍が期待できる企業である。